

僕の母さんの名前は静。
名前のとおり、とても
静かで無口だ。

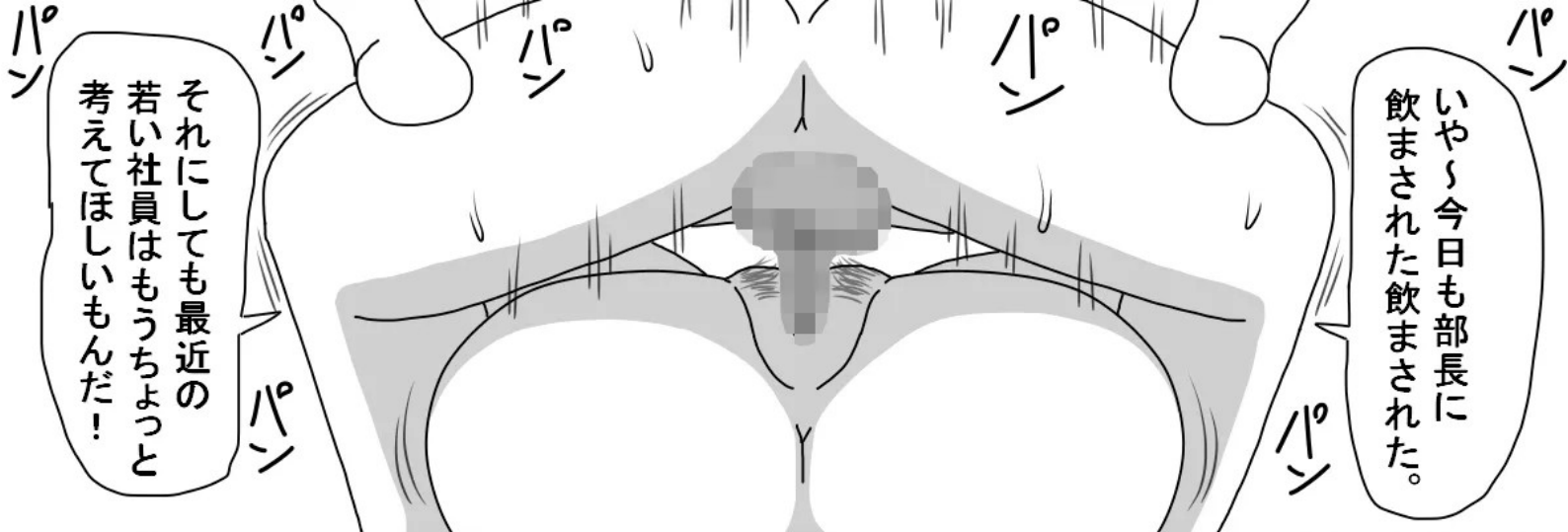


極端に言うと、「おはよう」
「おやすみなさい」しか
言わないくらい。

無口で静かだけど、母さんは
昔からとても優しい。しかも
美人で体もすごくエロい。

僕は小さい頃からそんな
母さんのことが大好きで、
今では一人の男として
母さんを狙っている。







母さんはあんなセックス
望んでいないだろうし、
正直嫌だと思う。

ふう〜…
ああもうダメだ
…眠い…



母さんは僕が
幸せにする！

僕はもう我慢の限界だった。
大好きな母さんをあんな
ふうに扱うなんて許せない！



ギュ

ウッ



押し倒して服を脱がして…
パンツも脱がしたのに…
なにも言っていない…

こんなことしたら、さすがになにか言ってくると思ったのに…
…というより母さん…
全然抗おうともしない…



小さい頃から大好きだった
母さんとセックス…
もう我慢できないっ！

母さんっ！

ズニュッ!!

ビクッ



